

次世代の素材開発を探索 生産性を向上し、余力を創出

—2020年の見通しは。

ここ数年続いた需要好調で、1年分の売上高に相当する受注残を抱えている。受注はやや鈍化してきたが、納品を待っているお客さまになるべく早く製品を届けたい。断熱材などの部材が入りづらい状況が続いてきたが、一般的な景気減速により徐々に緩和してきた。生産性向上を進め、納期短縮を見込んでいる。

—生産改善の具体策は。

19年9月、主力の滋賀工場(滋賀県湖南市)を拡張した。第3棟の面積は従来の2倍以上の1200平方メートルに広がり、特に長尺物組み立てで作業効率が高まった。ただ生産性向上は設備面だけでなく、マンパワーにかかる部分大きい。生産現場のリー

ダー育成に力を注ぐ。

—生産性向上の先に見据えるものは。

日常の仕事は早くこなし、時間、余力をつくり出して、先への準備をしたい。現在の中心となっている用途の次に来るものは何なのかを勉強しなければならない。19年9月から新たな中期経営計画(5カ年)をスタートした。これまで当社は超高温を発生させたり、圧力を上げたり真空にしたり、大電流機器の技術で強みを持ち、無機材料に関する知見を蓄えてきた。極限・特殊環境を作り出し、それによって新素材を生み出そうとする素材メーカーを後押しする。

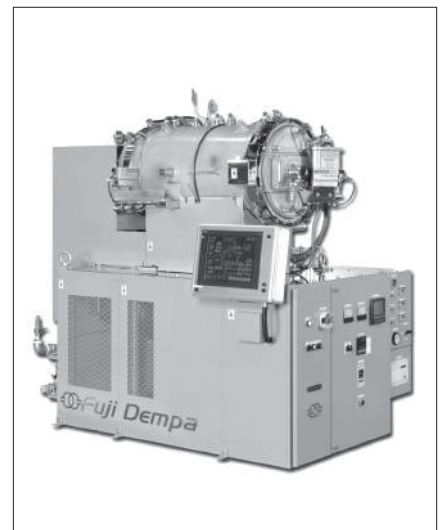
—次に来るもののイメージは。

今後はエネルギーをいかに有効に使う



富士電波工業
横島 俊夫社長

か、グリーンに生み出すかが重要なテーマになる。中でも電池ではリチウムイオン電池が進化を続け、全固体電池の開発も進められている。自動車、航空機、宇宙へと用途拡大も進むことが見込める。私たちも受託試験の拡大で素材産業の動向を探るなど、もっと知見を深め、取り組むべきテーマを見つけていきたい。



3400°C超高温真空雰囲気炉

Fuji Dempa

誠意・創意・熱意 みなぎる

「相談し甲斐のあるエンジニア」がいっぱいいる会社

新素材を生み出し、製造コストを削減し、省エネルギーを実現し、安全な生産プロセスを構築する。そんな幾多の先端的な技術課題に挑むお客様からのご相談を、加熱技術で確実にカタチにするために、誠実で、愚直に、とことんまであきらめず、知恵を絞り、そして汗をかく。お客様と二人三脚で疾走する技術・技能者集団として、信用と実績を積み重ねて71年。これからも、技術に磨きをかけ、より高度な加熱ニーズにお応えします。

滋賀第三工場 延伸工事完成

多目的高温炉「ハイマルチ」
ファンセラミックス等の素材開発に不可欠な標準機として国内外の研究機関・企業に250台以上の実績。この1台で真空・常圧・加圧でのホットプレスと焼結が全て可能。

大阪ものづくり優良企業賞
2018年度
審査委員特別賞受賞!

大阪の元氣「ものづくり」企業

「賢者の選択・One's Style #56富士電波工業」
(SUN-TV 2019.6.24放映)
→YouTube配信中

営業品目

- 真鍮液誘導溶接炉・真空溶接炉、加圧雰囲気溶接炉、高周波大気溶接炉
- 誘導加熱装置(ヒートヒーター、バーヒーター、焼入れ装置、ろう付け装置、焼ほめ装置、乾燥炉、焼結炉)
- 焼結炉、ホットプレス・真空常圧雰囲気焼結炉・ホットプレス、加圧雰囲気焼結炉・ホットプレス、連続炉
- 黒鉛化炉、熱処理炉、脱フッ素炉、多目的高温炉、昇華炉、CVD装置、ローラーハウス炉
- シリカ加熱装置、熱解析、委託実験

「ものづくりの環」をつなぎ人と地球の未来を創る

富士電波工業株式会社 Est. 1948

本社：大阪市淀川区新高2-4-36
東京営業所 名古屋営業所 滋賀工場 つくば事業所

<http://www.fujidempa.co.jp>